

社員精神ケア「感謝から」

福井 経営者ら対象にセミナー



従業員のメンタルヘルス対策をテーマに開かれたアクサ生命の「健康経営実践セミナー」= 7日、福井市の福井商工会議所ビル

対策について講演した産業医は、従業員の精神的な健康の維持には職場の円滑なコミュニケーションが不可欠と強調。「相手の苦勞に感謝、ねぎらいの言葉をかけるところから始めてほしい」とアドバイスした。

日本医師会認定産業医の足立留美子さんが、浜松市からオンラインで講演。実効性のある対策を進めるには「企業のトップがメンタルヘルスケアの推進を従業員にしっかりと表明することが大切」と説明。▽ストレスチェックなどを活用した労働者のセルフケア▽上司によるラインケア▽産業

医や人事担当者ら社内の保健スタッフによるケア▽社外の医療保健機関によるケア―と4段階のケアの必要性を訴えた。

特に、上司によるケアが重要として「部下のいいところに気が付いたらその場でほめる。感謝の言葉からコミュニケーションを始め、そこから指導や教育に広げてほしい」と話した。

セミナーはアクサ生命が定期的開催。福井市内の企業を中心に約20人が参加し、自社で実施しているメンタルヘルス対策に関する情報交換も行った。

(高島健)

アクサ生命(本社東京)

は7日、企業の経営者や人事担当者らを対象に「健康

経営実践セミナー」を福井

市の福井商工会議所ビルで開いた。メンタルヘルス